

川崎汽船、3Q経常損失274億円

Edited By LogisticsToday On 2019/01/31

川崎汽船が1月31日に発表した2019年3月期第3四半期（18年4-12月）決算は、売上高6384億9800万円（前年同期比27.8%減）、営業損失92億7300万円（前年同期は71億4800万円の利益）、経常損失274億2700万円（同93億9500万円の利益）、最終損失309億5300万円（同92億9500万円の利益）となった。

ドライバルク部門は増収となり、黒字に転換。エネルギー資源部門は増収増益。製品物流部門はコンテナ船事業の苦戦が影響して損失を計上した。通期は売上高8400億円（27.7%減）、営業損失50億円、経常損失280億円、最終損失200億円を見込む。

■2019年3月期第3四半期

	累計（百万円）	前年同期比	対売上高利益率
売上高	638,498	27.8%	
営業利益	9,273	-	1.4%
経常利益	27,427	-	4.3%
四半期純利益	30,953	-	4.8%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/335294>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.